

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-1	家庭教育推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	小澤 拓也
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	乳幼児・児童の保護者を対象に家庭教育の学習機会を設け、家庭での子どもの教育を充実します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<p>○乳幼児家庭教育学級を開催しました。 0～3歳の未就園児をもつ保護者を対象に、子育てについて自らテーマをもって学習する「たんぽぽ学級」の学習会を開催しました。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症により木育教室のみ開催 ○市内5小学校、2中学校、1園の家庭教育学級への支援を行いました。 各校・園に家庭教育学級の事業委託として、それぞれ3万円を交付しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	393,276	373,559	260,400	401,000	
② 人件費	2,925,000	2,925,000	2,250,000	2,250,000	
③ 合計コスト ①+②	3,318,276	3,298,559	2,510,400	2,651,000	
前年度比 (%)		99.4%	76.1%	105.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	10,700	6,900	200	2,200
	一般財源	3,307,576	3,291,659	2,510,200	2,648,800
④ 活動一単位当たりコスト	46,087.2	46,458.6	71,725.7	37,871.4	
前年度比 (%)		100.8%	154.4%	52.8%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は人件費の見直しによりコストが減少し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学習会が中止となったことから活動一単位当たりのコストが増加しました。令和3年度は例年通りの開催を見込んでいます。				

(3) 活動指標	指標名	開催回数	単位:	回	
	指標説明	家庭教育学級の開催回数			
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
		72	71	35	70

(4) 成果指標	指標名	家庭教育学級の学級生参加率	単位:	%	評価:	+
	指標説明	家庭教育学級学習会(たんぽぽ学級)参加者/学級生数(令和元年度実績より指標見直し)				
	目標値の設定方針	各家庭教育学級生の7割の参加率を目指します。				
	目標値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	75	70	70	70	
達成度 (%)	100	69.5	2			
		133.3%	99.3%	2.9%		

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
乳幼児学級では学級生(保護者)に重点を置いた学習会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からほとんどの学習会が中止となり、参加者も例年より少ない人数となりました。学習会の内容や開催方法を今後の感染症の状況などを考慮した活動にしなければなりません。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
市内各校・園に他校・他市の家庭教育学級の情報の提供。家庭での在宅取組を促進します。乳幼児学級では感染症対策等を徹底し、学習会の開場や内容を変更することで安心して参加できる活動にします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
当事業は子育て世代からの評価も高く、今後も継続していく必要があります。家庭教育学級の参加者数・参加率を上げるために、積極的な情報収集を行い、各学級への情報提供を行います。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-2	青少年健全育成事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平野 一彦
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	「大人が変われば、子どもが変わる」をスローガンにして、青少年の健全な育成を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの主張美濃市大会」を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中学生の県大会出場選考会とし、縮小・無観客及び発表者7名の参加にて開催しました。 ・7月の青少年非行・被害防止全国強調月間に合わせ、夏休みに向けて講演会及び「連合PTA研究大会&青少年健全育成を考えるつどい」並びに青少年育成「市民のつどい」の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。 ・少年補導センターによる街頭補導、非行防止活動、子ども会育成協議会、JLC活動の支援を実施しました。
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,240,136	1,218,850	1,300,900	1,218,000
② 人件費	6,375,000	6,375,000	6,225,000	6,225,000
③ 合計コスト ①+②	7,615,136	7,593,850	7,525,900	7,443,000
前年度比 (%)		99.7%	99.1%	98.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,615,136	7,593,850	7,525,900
④ 活動一単位当たりコスト	1,269,189.3	1,265,641.7	1,254,316.7	1,240,500.0
前年度比 (%)		99.7%	99.1%	98.9%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	人づくり団体推進室にて、事務業務体制の見直し等により、改善を図りました。			

(3) 活動指標	指標名	青少年育成推進委員会の開催回数			単位:	回数
	指標説明	青少年育成事業を進める上で核となる組織の活動状況				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	6	6	6	6	

(4) 成果指標	指標名	子ども育成講演会及び市民のつどい出席者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	青少年育成事業のなかで中心的な行事の出席者の状況						
	目標値の設定方針	青少年健全育成を考えるつどい100人、市民のつどい500人以上の参加を目指します。						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	500	500	500	500		500	
	実績値	300	350	0				
達成度 (%)	60.0%	70.0%	0.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>青少年が有害環境にさらされたり、犯罪やトラブルに巻き込まれたりすることなく、家庭、学校、地域が一体となって、情報の交換・共有を図り、青少年の健全な成長を地域全体で支える環境づくりを推進するとともに、犯罪の未然防止のため、少年補導センターや青少年を守る(育てる)会の支援など活動を行ってきました。市民団体や青少年の参加意識の高揚を図り、青少年参加型事業の定着化とともに、地域での青少年環境づくりへの貢献と、地域連携と情報の共有を図りました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「青少年健全育成を考えるつどい」及び「市民のつどい2020」は中止となりました。</p>
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年6月
<p>青少年が地域社会人として必要な自立力、共生力、自己実現力を身につけ、困難を克服する力や他者の権利を尊重できる心が育まれるよう環境づくりを支援します。また、地域ボランティア、市民団体等と連携を図り、地域の伝統文化・行事により、青少年が主体的に地域づくりに参画できるよう、体験・経験を積む機会を充実していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
<p>家庭、学校、市民団体、地域、警察と連携を密にし、青少年が地域社会を支える人材として活躍できるよう、市民参加型の事業とし内容を充実させ、より良い青少年を健全に育成する仕組みづくりと組織改革を行い、住みよい環境づくりを充実させていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-3	勤労青少年ホーム施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	勤労青少年ホームを運営管理することにより勤労青少年の健全な育成と福祉増進を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	定期利用団体によるアマチュアバンド、ダンス、太鼓練習などの利用がありました。また、定期利用団体以外で会議会場等としての使用がありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	1,868,193	1,641,703	2,877,569	0	
② 人件費	150,000	150,000	150,000	0	
③ 合計コスト ①+②	2,018,193	1,791,703	3,027,569	0	
前年度比 (%)		88.8%	169.0%	0.0%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	608,310	569,160	309,900	0
	一般財源	1,409,883	1,222,543	2,717,669	0
④ 活動一単位当たりコスト	2,557.9	2,853.0	8,650.2	#DIV/0!	
前年度比 (%)		111.5%	303.2%	#DIV/0!	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は施設管理委託業務を委託したため直接事業費が増加しました。美濃市勤労青少年ホームを廃止したため、令和3年3月31日付で閉館しました。				

(3) 活動指標	指標名	施設利用回数			単位:	回
	指標説明	各室の延べ利用回数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	789	628	350	0	

(4) 成果指標	指標名	利用延べ人員		単位:	人	評価:	+
	指標説明						
	目標値の設定方針	前年度実績の102%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	11,687	10,776	9,040	0		
	実績値	10,565	8,858	3,798			
達成度 (%)	90.4%	82.2%	42.0%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	定期利用団体が継続的に利用し活動が行われていますが、利用回数の減少等により利用者数は年々減少しています。特に令和2年度の利用者は大幅に減少しました。美濃市勤労青少年ホームを廃止したため、令和3年3月31日付で閉館しました。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
今後の方向性	2. 廃止	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要					
事務事業名	53-4	人権教育・啓発推進事業	担当課	人づくり文化課	
			作成者	小澤 拓也	
施策体系	行政分野	④教育・文化		施策分類	1学校教育
	総合計画上の施策名	49 人権同和教育の推進			
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進			

2. 事務事業の目的	「美濃市人権教育・啓発の指針」に基づき、市民一人ひとりが人権に関するさまざまな課題について認識を深めるために、学校・地域・家庭・職場その他あらゆる場を通じて教育を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題市民啓発講演会を開催しました。 ・地区公民館において、人権学習会を開催しました。 ・人権週間の活動を実施しました。 ・人権啓発講演会と「わたしのメッセージ展Ⅰ、Ⅱ」を開催しました。 ・人権問題交流会を1回開催しました。
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	566,861	566,796	432,109	657,000
② 人件費	825,000	900,000	300,000	300,000
③ 合計コスト ①+②	1,391,861	1,466,796	732,109	957,000
前年度比 (%)		105.4%	49.9%	130.7%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,391,861	1,466,796	732,109
④ 活動一単位当たりコスト	231,976.8	366,699.0	183,027.3	239,250.0
前年度比 (%)		158.1%	49.9%	130.7%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から視察等の事業を中止しました。			

(3) 活動指標	指標名	人権に関する市民啓発講演会の開催回数			単位:	回
	指標説明	市民に広く人権教育を推進するために行う市民啓発講演会の開催状況				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	6	4	4	4	

(4) 成果指標	指標名	人権問題市民啓発講演会参加人数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	人権教育・啓発事業のなかで中心的な行事の出席者数の状況					
	目標値の設定方針	240人以上の参加を目指します					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	240	240	240	240		
	実績値	380	230	286			
達成度 (%)	158.3%	95.8%	119.2%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	市民啓発講演会などの実施により、市民に対し広く人権教育を実施し確実に成果を上げてきました。しかしながら、インターネット上での人権侵害など人権問題が複雑化しています。市民一人ひとりの人権への正しい理解と人権意識の高揚を図る必要があります。また、市民啓発講演会の参加者の拡大を図る必要があります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
人権への正しい理解と人権意識の高揚を図るために、市民啓発講演会をより理解しやすく市民の要望に沿った内容とし、広報等により参加者を拡大します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
人権への正しい理解と人権意識の高揚は、人権教育を推進する上で重要な課題となります。さらに啓発・推進していくために、人権週間に行うメッセージ展の開催、地区別講演会など、各種行事の充実をします。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要					
事務事業名	53-5 梅山大学活動事業			担当課	人づくり文化課（中央公民館）
				作成者	澤村 和茂
施策体系	行政分野	④教育・文化		施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備			
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進			

2. 事務事業の目的	高齢者が、生涯学習を通じてその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	入学式・開講式の挙行。 中央研修として、日帰り研修、文化祭、講演会などを実施。 クラブ活動ごと、あるいは地区ごとに独自の活動を実施。 執行部会、運営委員会を開催して、自主的な運営を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	205,938	170,280	162,964	442,000
② 人件費	825,000	825,000	825,000	450,000
③ 合計コスト ①+②	1,030,938	995,280	987,964	892,000
前年度比（％）		96.5%	99.3%	90.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,030,938	995,280	987,964
④ 活動一単位当たりコスト	35,549.6	34,320.0	49,398.2	34,307.7
前年度比（％）		96.5%	143.9%	69.5%
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった活動があり、活動一単位当たりのコストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	中央研修会等の活動回数			単位：	回
	指標説明	中央研修会等の活動回数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	29	29	20	26	

(4) 成果指標	指標名	学生数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	入学式時点での学生数					
	目標値の設定方針	前年度実績の100%					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	195	133	191	154		
	実績値	133	191	154			
達成度（％）	68.2%	143.6%	80.6%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	大学生、大学院生、助手で構成されているが、全体的に高齢化が進んでいます。高齢者のうちでも若い世代の人々は、こうした集まりに参加することをためらう人が多く、新入生が得られないため、全体として学生数が減少傾向にあります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
60歳代の方々を中心に、梅山大学への入学をさらに働きかけていきます。また、高齢消費者被害防止事業をさらに活用し、一層充実したプログラムとすることにより新入生の獲得を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
高齢化時代を迎え、今後ますます元気な高齢者が増加していきます。元気な高齢者とその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽していくためには、梅山大学活動を今後も続けていくべきです。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-6 生涯学習推進事務事業		担当課	人づくり文化課
			作成者	小澤 拓也
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	「1市民・1芸・1スポーツ・1ボランティア」の実践に向け、市民のライフスタイルに合わせた、多様な生涯学習の提供と学習環境の充実を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室を中有知小学校と大矢田小学校と藍見小学校の3校区の公民館で実施しました。 ・土曜の教育活動推進事業として、子どもを対象にした木のワークショップを7地区で開催しました。 ・安心して生涯学習が行えるよう全市民を対象に市民活動災害補償保険（いきいき保険）に加入しました。 ・生涯学習センターなど生涯学習施設の適正な維持管理に努めました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト		(単位:円)			
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	9,674,030	15,547,655	17,800,889	8,501,000	
② 人件費	3,225,000	3,000,000	2,700,000	2,700,000	
③ 合計コスト ①+②	12,899,030	18,547,655	20,500,889	11,201,000	
前年度比 (%)		143.8%	110.5%	54.6%	
財源内訳	国・県支出金	715,000	991,000		0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	104,200	223,630	231,250
	一般財源	12,184,030	17,452,455	20,277,259	10,969,750
④ 活動一単位当たりコスト	314,610.5	370,953.1	418,385.5	280,025.0	
前年度比 (%)		117.9%	112.8%	66.9%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和元年度は上牧生涯学習センターグラウンド整備のため直接事業費が増加した。令和2年度は生涯学習施設の網戸及び換気扇改修や上牧グラウンド芝生整備のため事業費が増加しました。令和3年度は修繕や工事の予定はないため、事業費が減少しています。令和3年度は子ども教室の開催見込みが減少しているため、活動一単位当たりのコストが減少しています。				

(3) 活動指標	指標名	子ども教室の開催回数		単位:	回
	指標説明	子どもを対象にした放課後や土日等の活動の回数			
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
	実績値	41	50	49	40

(4) 成果指標	指標名	子ども教室の参加人数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	放課後や土日等の活動の参加人数					
	目標値の設定方針	1回あたり20名の出席					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	620	1,150	1,400	800		
	実績値	946	1317	784			
達成度 (%)	152.6%	114.5%	56.0%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
令和2年度から放課後の子どもの居場所をつくる目的で、放課後子ども教室を3校区の公民館で開設しています。内容は概ね好評で、子どもたちが地域の人たちに見守られて活動することで繋がりができています。今後の課題として、スタッフとなる地域サポーターの確保や、他地区での開催を検討していく必要があります。土曜の教育活動推進事業「木をテーマとしたワークショップ」を7地区で開催しました。今後はこの事業から、地域の新たな展開や活性化に繋がっていくことが期待できると考えます。課題として、事業の周知を更に図っていくことや、マンネリ化を防ぐ意味でも前年度からの内容に変化を加えるなどの工夫が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
ワークショップ内容の見直しと、地域事業として展開していくきっかけとなるような活動にしていきます。放課後子ども教室の地域サポーター確保と、子どもが安全安心に過ごせる居場所が1つでも多く提供できるよう、学校や地域と連携していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
地域の中で子どもを見守っていく体制が確立されつつあります。今後は十分なサポーターを確保し、児童に安心安全な居場所を提供していくことで、更に地域と連携していきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-7	図書館運営事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	52 図書館事業の充実		
	施策名(評価単位)	(36)生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	図書資料・情報の収集、施設の充実により「知の拠点」として、市民の学習機会の場に供します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	専門化、細分化した図書や最新の情報に沿った図書を購入しました。「おはなし会(読み聞かせ)」を開催し、子どもたちに本に親しむ機会を提供することで、子どもの読書活動を推進しました。市内の各小学校へ出掛ける移動図書館や館内で開催する古本市など、図書サービスの多様化を図りました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	25,635,520	25,541,812	29,677,238	28,126,000
② 人件費	1,200,000	1,350,000	1,425,000	1,425,000
③ 合計コスト ①+②	26,835,520	26,891,812	31,102,238	29,551,000
前年度比 (%)		100.2%	115.7%	95.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	26,835,520	26,891,812	31,102,238
④ 活動一単位当たりコスト	91,902.5	94,357.2	122,449.8	103,325.2
前年度比 (%)		102.7%	129.8%	84.4%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	コロナウイルス感染拡大防止の観点から閉館した期間があったため、活動一単位当たりのコストが増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	日	
	指標説明				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
	実績値	292	285	254	286

(4) 成果指標	指標名	貸出冊数	単位:	冊	評価:	+
	指標説明					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	目標値	71,110	71,470	76,930	80,000	
	実績値	68,067	73,264	112,128		
達成度 (%)	95.7%	102.5%	145.8%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	築50年が経過し老朽化していること、及び、耐震診断の結果を踏まえて、早急に全体的に改修を実施する必要があります。貸出冊数は新型コロナウイルス感染に伴う巣籠もり需要と、「おすすめ本」コーナーでテーマを変えて図書を紹介する工夫等により、増加しました。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
安心安全に施設を利用していただけるよう、計画的な整備をしていきます。更に「おすすめ本」コーナー等の展示を工夫し、利用者の興味を促していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
図書館の利用目的は貸出のほかに学習、親子で絵本を見る等、人それぞれです。利用者のニーズに合わせた蔵書の更新や関係機関との連携を行い、利用しやすい環境の図書館にします。また、子どもに本と親しむ機会を提供していくとともに、学校図書館と連携しながら読書活動を推進します。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-8 成人式開催事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）	
		作成者	澤村 和茂	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	成人式を開催し、社会生活での自立と自覚を促します。
------------	---------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	美濃市文化会館で開催しました。各地区からの新成人実行委員を選出し、実行委員の企画立案により運営しました。新型コロナウイルス感染が拡大する中で開催が心配されましたが、新成人199名中165名の出席があり、無事開催することができました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	334,697	378,787	346,437	453,000
② 人件費	1,950,000	2,325,000	2,700,000	1,575,000
③ 合計コスト ①+②	2,284,697	2,703,787	3,046,437	2,028,000
前年度比 (%)		118.3%	112.7%	66.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,284,697	2,703,787	3,046,437
④ 活動一単位当たりコスト	175,745.9	193,127.6	217,602.6	144,857.1
前年度比 (%)		109.9%	112.7%	66.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和3年度は、業務量の見直しにより人件費が減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数			単位:	人
	指標説明	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	13	14	14	14	

(4) 成果指標	指標名	成人式出席者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	成人式に出席した新成人の数						
	目標値の設定方針	新成人の数						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	202	226	199	200			
	実績値	168	181	165				
達成度 (%)	83.2%	80.1%	82.9%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	人生の節目に相応しい事業となるよう、問題点を洗い出し、改善につとめていかなければなりません。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
実行委員公募の告知を拡充し、新成人自らが企画運営する手作りの成人式であることを広くPRした上で開催します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
成人式は人生の節目の行事として全国各地で実施しています。美濃市では毎年、新成人が自ら実行委員会を組織し、成人式を企画運営しています。今後、成人年齢の引き下げも視野に入れつつ、新成人にふさわしい式典となるよう実行委員会と共に実施していきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-9 中央公民館運営補助事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）	
		作成者	澤村 和茂	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために中央公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	美濃市中央公民館の職員は現在3名ですが、うち1名は梅山大学および美濃公民館の事務を主にしているため、中央公民館の事務については2名で行っています。 中央公民館の主催する生涯学習講座は19講座を計画し13講座が開催され、延べ1,910人の出席があり、この講座の成果を生涯学習まつりで発表しました。 また、定期的に使用している団体は63団体があり、そのうち8団体が生涯学習まつりにおいて活動の成果を発表しました。 その他貸館業務として1,552件ありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	10,545,064	11,760,367	11,723,116	12,583,000	
② 人件費	3,825,000	3,075,000	2,325,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	14,370,064	14,835,367	14,048,116	13,408,000	
前年度比 (%)		103.2%	94.7%	95.4%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,709,180	1,742,320	1,011,960	1,680,000
	一般財源	12,660,884	13,093,047	13,036,156	11,728,000
④ 活動一単位当たりコスト	898,129.0	872,668.6	1,080,624.3	838,000.0	
前年度比 (%)		97.2%	123.8%	77.5%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講座の開催数が減少したため、活動一単位当たりのコストが増加しています。令和3年度は例年通りの開催数を見込んでいるため、活動一単位当たりのコストが減少しています。				

(3) 活動指標	指標名	生涯学習講座開催講座数				単位:	講座
	指標説明	生涯学習講座開催講座数					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	実績値	16	17	13	16		

(4) 成果指標	指標名	生涯学習講座参加延べ人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	生涯学習講座参加延べ人数							
	目標値の設定方針	生涯学習講座当初募集定員延べ人数							
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込				
	目標値	3,817	3,307	2,500	1,910				
	実績値	2,229	1,832	1,910					
達成度 (%)	58.4%	55.4%	76.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>建築後30年以上経過し、建物も設備も老朽化して、使用する市民に不便をかけることもあります。いつも便利に使用できる公民館を維持していかなければなりません。生涯学習講座の数や開催した講座内容は近年ほとんど変わっていませんでしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした講座があったため、講座募集定員延べ人数が減少しました。今後は新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながら市民が本当に望んでいる講座の発掘など、講座内容をよく吟味することが必要となります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<p>講座受講生、公民館利用者、講師依頼予定者、新講座の講師希望者など、各方面からの要望を反映させた講座を計画します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
<p>公民館は市民の学習の場としてなくてはならない施設であり、より適切な管理運営をします。 生涯学習講座は初心者を対象としているにもかかわらず、くりかえし受講を希望する受講生が多くあることから、市民に定着している事業となっています。自主的な生涯学習活動への入口として、さらに市民の要望に沿ったメニューを取り入れていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-10	市美術展事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	澤村 和茂
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名（評価単位）	(36) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	美術展の開催により、水準の高い文化を創造します。
------------	--------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	6部門（洋画、日本画、彫塑・工芸、書、写真、和紙画）161作品の展覧がありました。その中から市展賞、市長賞、教育長賞、優秀賞、奨励賞、入選を選考し、美術展最終日に表彰を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	308,127	291,961	309,315	330,000
② 人件費	1,950,000	2,325,000	2,700,000	1,575,000
③ 合計コスト ①+②	2,258,127	2,616,961	3,009,315	1,905,000
前年度比（％）		115.9%	115.0%	63.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,258,127	2,616,961	3,009,315
④ 活動一単位当たりコスト	752,709.0	872,320.3	1,003,105.0	635,000.0
前年度比（％）		115.9%	115.0%	63.3%
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）	令和3年度：業務量の見直しにより人件費が減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数			単位：	回
	指標説明	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	3	3	3	3	

(4) 成果指標	指標名	出展数		単位：	点	評価：	+
	指標説明	出展数					
	目標値の設定方針	前年度実績の100%以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	125	126	125	161		
	実績値	126	114	161			
達成度（％）	100.8%	90.5%	128.8%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	市内のみならず、他県や他市町村からの応募もありますが、令和2年度は出展数が増加傾向となっています。また、コロナウイルス感染症拡大により自宅で過ごす時間が増え、作品製作時間が増加したことから、出展数が当初の目標を上回る実績となりました。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
ホームページや広報等で広く一般に公募案内をするとともに、昨年の出品者にも出展依頼を行います。出品作品の申し込み方法の便宜を図るため、今年もFAXによる申し込みを可能とします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
令和2年度は出展数が増加したものの、全体としての出展数は減少傾向にあり、その中で他市町村からの出展者が増加しています。美術展としての展示会でなく、部門ごとの展示会等の方法も検討する必要があります。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-11	地区公民館施設管理事業	担当課	人づくり文化課（中央公民館）
			作成者	澤村 和茂
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53	公民館事業の充実	
	施策名(評価単位)	(36)	生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために地区公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	洲原、上牧、大矢田、藍見、中有知の5公民館の管理運用がスムーズに行われるよう、需用費、役務費、管理人委託料などを負担し、これらが適正に使用されるよう指導します。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	6,150,244	15,037,760	8,424,756	6,656,000	
② 人件費	1,950,000	2,325,000	2,325,000	450,000	
③ 合計コスト ①+②	8,100,244	17,362,760	10,749,756	7,106,000	
前年度比 (%)		214.3%	61.9%	66.1%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	282,450	296,700	229,360	276,000
	一般財源	7,817,794	17,066,060	10,520,396	6,830,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,620,048.8	3,472,552.0	2,149,951.2	1,421,200.0	
前年度比 (%)		214.3%	61.9%	66.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和元年度は空調設備改修・トイレ改修工事のため費用が増加しましたが、令和2年度はエアコン修繕などの修繕のみのため。令和3年度は業務量見直しのため、人件費が減少しています。				

(3) 活動指標	指標名	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数			単位:	館
	指標説明	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	5	5	5	5	

(4) 成果指標	指標名	地区公民館の自主事業数			単位:	事業	評価:	+
	指標説明	地区公民館の自主事業数						
	目標値の設定方針	前年度の100%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	120	116	115	126			
	実績値	116	115	126				
達成度 (%)	96.7%	99.1%	109.6%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
現在、美濃市には地区公民館7館と中央公民館があり、それぞれ活動を行っています。地区公民館は地域ふれあいセンターに併設されたものと、地域ふれあいセンターを併設しているものがあり、そのどちらも、地域コミュニティーの場として地域づくり活動、生涯学習活動、各種団体活動など、地域活動の拠点となる機能の充実が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
自治会活動、各種団体活動、生涯学習活動などに積極的に取り組み、地域の身近な活動拠点となるよう機能の充実と利用を促進していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
地区公民館は地域ふれあいセンターとしての機能も有しており、地域活動の拠点として適正な管理運営を継続します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-12	市体育館施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館の3施設の管理 ・ 体育施設管理業務委託 ・ 清掃委託 ・ 消防設備点検業務委託 ・ 浄化槽保守点検業務委託 ・ 光熱水費など

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	2,432,105	8,091,949	4,608,595	3,112,000	
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	3,257,105	8,916,949	5,508,595	4,012,000	
前年度比 (%)		273.8%	61.8%	72.8%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	695,590	708,770	608,250	655,000
	一般財源	2,561,515	8,208,179	4,900,345	3,357,000
④ 活動一単位当たりコスト	10,609.5	28,951.1	17,943.3	13,026.0	
前年度比 (%)		272.9%	62.0%	72.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和元年度体育館床面改修工事のため事業費が増加しました。令和2年度は照明設備の修繕を実施しました。令和3年度は大規模な施設の修繕を予定していないため、直接事業費が減少する見込みです。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	体育館の開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	307	308	307	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	体育館を利用した人数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	平成2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000			
	実績値	29,275	25,921	16,829				
達成度 (%)	97.6%	86.4%	56.1%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
施設が老朽化しており、修繕が必要な箇所も多くあり、優先順位をつけた計画的な修繕が必要です。利用者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から休館したこともあり、昨年より減少しました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
美濃市内の体育館を安全安心に使用できるよう維持管理を適正に実施するとともに、修繕が必要な箇所を優先順位をつけて修繕していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
適性に維持管理するとともに、老朽化した施設を優先順位をつけ計画的に修繕します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-13	各地区グラウンド施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、地区グラウンドを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・下牧・御手洗・大矢田・藍見・中有知の5箇所のグラウンドの管理業務委託 ・光熱水費など ・グラウンドの土の補給

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	1,014,519	1,460,310	1,227,375	1,389,000	
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	1,839,519	2,285,310	2,127,375	2,289,000	
前年度比 (%)		124.2%	93.1%	107.6%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	4,320	3,100	4,180	5,000
	一般財源	1,835,199	2,282,210	2,123,195	2,284,000
④ 活動一単位当たりコスト	5,124.0	6,365.8	5,925.8	6,376.0	
前年度比 (%)		124.2%	93.1%	107.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和元年度は樹木伐採業務を実施したため事業費が増額しています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	日	
	指標説明	利用可能な日			
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
	実績値	359	359	359	359

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数	単位:	人	評価:	+
	指標説明	御手洗グラウンドの利用者数				
	目標値の設定方針	前年度実績以上				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	目標値	11,000	11,000	10,000	10,000	
	実績値	11,235	8,607	6,528		
達成度 (%)	102.1%	78.2%	65.3%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	各グラウンドを安全安心に使用できるよう維持管理を実施しました。施設が老朽化しており、各所で修繕が必要なことが課題です。利用者数については減少傾向にあります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
修繕が必要な箇所については、優先順位をつけて、修繕を行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
市民が利用しやすいグラウンドとするため、適正に維持管理をしていきます。修繕が必要な箇所については、優先順位をつけ、計画的な修繕を行っていきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-14	和紙の里スポーツ広場施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、和紙の里スポーツ広場を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・委託管理業務委託 ・電気設備保守点検業務委託 ・浄化槽清掃点検業務委託 ・光熱水費など

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	7,706,932	5,222,792	6,198,075	11,072,000	
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	8,531,932	6,047,792	7,098,075	11,972,000	
前年度比 (%)		70.9%	117.4%	168.7%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,857,510	1,404,703	925,013	1,820,000
	一般財源	6,674,422	4,643,089	6,173,062	10,152,000
④ 活動一単位当たりコスト	27,791.3	19,635.7	23,120.8	38,870.1	
前年度比 (%)		70.7%	117.7%	168.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は水銀ランプの購入及びエアコンの修繕のため事業費が増額しています。令和3年度は高圧電気設備改修工事を予定しているため直接事業費が増額となります。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	307	308	307	308	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	施設の年間利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	13,000	13,000	13,000	13,000			
	実績値	12,403	10,647	6,568				
	達成度 (%)	95.4%	81.9%	50.5%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており計画的な修繕が必要です。利用者数の増減はありますが、一定数の利用はあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
優先順位をつけ、計画的に修繕をしていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
利用しやすい施設にするために、老朽化した施設を計画的に修繕していきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-15	運動公園施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、運動公園を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園管理業務委託 ・テクノパーク・テニスコート管理業務委託 ・浄化槽維持管理業務委託 ・電気設備保安管理業務委託 ・貯水槽点検清掃・水質検査業務委託 ・光熱水費など

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	26,807,836	10,712,367	14,896,851	9,390,000	
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	27,632,836	11,537,367	15,796,851	10,290,000	
前年度比 (%)		41.8%	136.9%	65.1%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	1,122,060	1,467,888	1,391,433	1,207,000
	一般財源	26,510,776	10,069,479	14,405,418	9,083,000
④ 活動一単位当たりコスト	89,717.0	37,459.0	51,455.5	33,409.1	
前年度比 (%)		41.8%	137.4%	64.9%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は弓道場屋根改修工事及び水銀ランプ取替修繕で、事業費が増加しました。令和3年度は修繕の予定が無いいため事業費が減額となります。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	日	
	指標説明	運動公園の開館日数			
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
	実績値	308	308	307	308

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数	単位:	人	評価:	+
	指標説明	運動公園の年間利用者数				
	目標値の設定方針	前年度実績以上				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	目標値	30,000	30,000	30,000	25,000	
	実績値	22,371	23,478	18,125		
達成度 (%)	74.6%	78.3%	60.4%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
老朽化した施設の修繕を行うとともに、安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており、計画的な修繕が必要です。令和2年度の利用者は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年より減少しました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
老朽化した施設が多いため、優先順位をつけ、計画的な修繕を検討していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
利用者が徐々に減少していますが、利用しやすい施設にする必要があります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-16	台山ヒロック施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、台山ヒロックを適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	・台山ヒロックのポンプ及びトイレの電気料金、トイレの上下水道料

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	3,176,395	646,367	577,728	716,000	
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	4,001,395	1,471,367	1,477,728	1,616,000	
前年度比 (%)		36.8%	100.4%	109.4%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	16,930	22,220	22,000	17,000
	一般財源	3,984,465	1,449,147	1,455,728	1,599,000
④ 活動一単位当たりコスト	12,991.5	4,777.2	4,813.4	5,246.8	
前年度比 (%)		36.8%	100.8%	109.0%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	日	
	指標説明	利用可能日数			
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
	実績値	308	308	307	308

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数	単位:	人	評価:	+
	指標説明	台山グラウンド年間利用者数				
	目標値の設定方針	前年度実績以上				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	目標値	18,000	18,000	12,000	12,000	
	実績値	14,302	11,324	11,288		
達成度 (%)	79.5%	62.9%	94.1%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	主としてサッカー競技者が利用しています。施設や備品の老朽化が進んでいることから、優先順位をつけた修繕が必要です。利用者は減少傾向にあります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
老朽化している箇所、備品を把握し、計画的に修繕、備品購入し利用者の利便性向上を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
利用者の利便性向上のために、計画的な修繕及び備品の購入をしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-17	市民プール施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市民プールを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	・光熱水費の支払い

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	12,451,486	11,331,893	631,305	483,000	
② 人件費	825,000	825,000	900,000	0	
③ 合計コスト ①+②	13,276,486	12,156,893	1,531,305	483,000	
前年度比 (%)		91.6%	12.6%	31.5%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	976,950	777,000	0	0
	一般財源	12,299,536	11,379,893	1,531,305	483,000
④ 活動一単位当たりコスト	295,033.0	270,153.2	0.0	0.0	
前年度比 (%)		91.6%	0.0%	0.0%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度以降は利用を休止したため光熱水費等の必要経費のみとなっています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	プールの開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	45	45	0	0	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	プールの年間利用者数					
	目標値の設定方針	前年度実績以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	9,500	9,500	0	0		
	実績値	6,802	6,113	0			
達成度 (%)	71.6%	64.3%	#DIV/0!				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
利用者が安全安心して利用できるよう維持管理を行ってまいりましたが、令和2年度より休止しています。施設が老朽化が著しく大規模なリニューアル工事または、廃止を含めた検討が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
令和2年度に「美濃市スポーツ推進審議会」を開催してプールのあり方を検討し、「美濃市市民プール検討委員会」においてによりプールを維持することはできないとの議論を得ており、休止としました。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
市民の憩いの場として多くの利用者がありましたが、施設の老朽化が著しく大規模なリニューアル工事及び廃止を含めた検討が必要です。		
今後の方向性	2. 廃止 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-18	夜間学校開放施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、各小中学校体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	・学校開放体育館6ヵ所の維持管理（鍵の貸出業務は委託で実施）

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	254,000	250,000	250,000	359,000	
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000	
③ 合計コスト ①+②	1,079,000	1,075,000	1,150,000	1,259,000	
前年度比 (%)		99.6%	107.0%	109.5%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	189,184	214,305	360,020	570,000
	一般財源	889,816	860,695	789,980	689,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,997.2	2,986.1	3,194.4	3,507.0	
前年度比 (%)		99.6%	107.0%	109.8%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	開館日数	
	指標説明				
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
		360	360	360	359

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数	単位:	人	評価:	+
	指標説明					
	目標値の設定方針	前年度実績以上				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	目標値	51,000	51,000	40,000	40,000	
	実績値	44,908	34,541	26,252		
達成度 (%)	88.1%	67.7%	65.6%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	適正な維持管理を実施しました。
----------	-----------------

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
昨年同様、体育館利用団体が同一種目の場合は、合同で使用するよう勧めます。美濃小、中有知小、美濃中の体育館は2面利用できるので、2団体の利用を依頼していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
利用団体が増加傾向のため、利用日時の調整や合同利用等の対策を進めスポーツの振興を促します。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-19	体育施設改修等事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	老朽化及び損傷した体育施設を修繕し、利用者の安全確保とスポーツ振興及び市民の健康づくりを促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館 ・曾代テニスコート・和紙の里テニスコート・テクノパークテニスコート ・曾代グラウンド・和紙の里スポーツ広場グラウンド・各地区グラウンド ・市民球場・市民プール ・生涯学習施設体育館・各学校体育館 以上体育施設の緊急的な修繕を行う。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	997,431	2,211,034	3,453,560	1,000,000	
② 人件費	825,000	825,000	1,125,000	1,725,000	
③ 合計コスト ①+②	1,822,431	3,036,034	4,578,560	2,725,000	
前年度比 (%)		166.6%	150.8%	59.5%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	248,566	284,755	0	0
	一般財源	1,573,865	2,751,279	4,578,560	2,725,000
④ 活動一単位当たりコスト	5,917.0	9,889.4	14,865.5	8,876.2	
前年度比 (%)		167.1%	150.3%	59.7%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和元年度は陸上競技場の照明修繕等を実施したため直接事業費が増加しました。令和2年度は体育館網戸及び換気扇改修工事や水道管漏水修繕等を実施し直接事業費が増加しました。令和3年度は大規模な修繕等の予定はないため、直接事業費及び活動一単位当たりのコストが減少しています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数	単位:	日
	指標説明			
	実績値	平成30年度実績 308	令和元年度実績 307	令和2年度実績 308

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数	単位:	人	評価:	+
	指標説明					
	目標値の設定方針	前年度実績以上				
	目標値	平成30年度実績 105,000	令和元年度実績 105,000	令和2年度実績 140,000	令和3年度見込 105,000	
	実績値	154,117	132,209	94,528		
達成度 (%)	146.8%	125.9%	67.5%			

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
緊急性のあるものから修繕しました。計画的な修繕が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
優先順位をつけ、順次修繕していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
老朽化により修繕が必要な箇所を、順次修繕していきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-21	スポーツ推進委員活動事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ振興のため、スポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導助言を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室の開催 地区、県、東海四県、全国研究大会の参加 各種スポーツ大会の協力及び講習会の開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	2,025,066	1,624,722	977,048	1,941,000
② 人件費	975,000	975,000	900,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	3,000,066	2,599,722	1,877,048	2,841,000
前年度比 (%)		86.7%	72.2%	151.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,000,066	2,599,722	1,877,048
④ 活動一単位当たりコスト	600,013.2	649,930.5	1,877,048.0	710,250.0
前年度比 (%)		108.3%	288.8%	37.8%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から研修回数が減少したため、コストが減少しましたが、活動一単位当たりのコストは増加となりました。令和3年度は例年通りの研修回数を見込んでおり、コストが増加します。			

(3) 活動指標	指標名	研修会回数			単位:	回
	指標説明					
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
		5	4	1	4	

(4) 成果指標	指標名	研修会参加人数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	達成度 (%)	70	70	70	70	67	60	16
		95.7%	85.7%	22.9%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で研修会の多くが中止となりました。各地区から2名の委員が選出されていますが、半数の地区で1期(2年)で2人とも変わっています。今後は、交互に代わるような調整をする必要があります。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
委員会で情報共有を行いながら、スポーツ教室・委員活動を実施していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
スポーツ推進委員は、市全体の生涯スポーツの普及や市の目指す市民の体力向上に寄与しています。また、各地区において、公民館活動、体育振興会、体育推進委員会のメンバーとして、市と市民のパイプ役を担っています。今後も、積極的に参画して、地区における生涯スポーツ振興と市のスポーツのあり方等について助言をしていただきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-22	各種体育大会開催事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	「1市民1スポーツ」の実現を目指して各種体育市民大会を開催します。
------------	-----------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	市民大会開催により、スポーツとの出会いの場の提供と市民の健康増進を推進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	500,000	1,338,103	730,000	980,000
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	1,325,000	2,163,103	1,630,000	1,880,000
前年度比 (%)		163.3%	75.4%	115.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,325,000	2,163,103	1,630,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,325,000.0	540,775.8	815,000.0	940,000.0
前年度比 (%)		40.8%	150.7%	115.3%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会数が減り、コストが減少しましたが活動一単位当たりのコストは増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	補助大会数			単位:	回
	指標説明					
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
		1	4	2	2	

(4) 成果指標	指標名	参加者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年実績以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	250	250	250	250			
	実績値	95	236	194				
達成度 (%)	38.0%	94.4%	77.6%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
市民ベタンク、ゴルフ大会に合わせ、多くの方に知ってもらうため教室を開催しました。高齢者のみならず、若い方にも参加してもらえました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
多くの参加者が得られるように、PRの手法や新規大会を開催していく必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
市民大会を各種開催しているが、年々参加者が減少しているため、種目の検討、開催時期や会場の変更等、大会の運営方法の見直しを検討します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-23	体育協会補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55 スポーツ団体と指導者の育成		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツの普及と競技スポーツの振興、市民の健康づくりに寄与することを旨とする体育協会を支援してスポーツ活動の正しい普及発展を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大会の開催 ・スポーツ少年団への助成金交付 ・特別強化事業の開催 ・全国大会出場者激励会の開催 ・競技種目団体への育成費・強化費の助成 ・機関紙の発行 ・優秀指導者、優秀選手の表彰

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,394,000	1,394,000	1,178,000	1,394,000
② 人件費	825,000	825,000	600,000	600,000
③ 合計コスト ①+②	2,219,000	2,219,000	1,778,000	1,994,000
前年度比 (%)		100.0%	80.1%	112.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,219,000	2,219,000	1,778,000
④ 活動一単位当たりコスト	170,692.3	170,692.3	296,333.3	153,384.6
前年度比 (%)		100.0%	173.6%	51.8%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から市民大会が中止となり、コストが減少しましたが、活動一単位当たりのコストは増加しました。令和3年度は例年通りの開催を見込んでおり、コストが増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	市民大会開催数			単位:	回
	指標説明					
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
		13	13	6	13	

(4) 成果指標	指標名	県民スポーツ大会参加者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	135	135	120	120			
	実績値	114	89	0				
達成度 (%)	84.4%	65.9%	0.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会数が減少するとともに成果指標となっている県民スポーツ大会も中止となりました。少子化、人口減少並びに競技の多種多様化等により県民スポーツ大会への出場選手及び市民大会の参加チーム数が減少傾向にあります。出場選手及び参加者数の増加及び競技力向上に向けた取り組みが必要です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
協会所属の競技団体へ育成を中心とした強化及び底辺の拡大を促します。 ・スポーツ少年団またはジュニアクラブの募集 ・多種多様な初心者教室また体験教室の開催		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
協会所属の競技団体の中には、世代交代または後進選手・指導者の育成ができていない団体もあり、小学生、中学生時からの指導育成がなされ、高校または大学卒業後に競技団体において中心選手として、晩年は指導者として活躍できるような形態となる環境を整備していきます。各競技団体にて底辺の拡大が、市民スポーツの向上、競技力向上、健康増進につながるようにします。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-24	スポーツ少年団活動補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55	スポーツ団体と指導者の育成	
	施策名(評価単位)	(37)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し青少年の心身の健全な育成を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・母集団研修会 ・「指導者・育成者」表彰式及び「優秀団」表彰 ・認定員養成講習会

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	363,000	363,000	363,000	363,000
② 人件費	1,200,000	1,200,000	975,000	975,000
③ 合計コスト ①+②	1,563,000	1,563,000	1,338,000	1,338,000
前年度比 (%)		100.0%	85.6%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,563,000	1,563,000	1,338,000
④ 活動一単位当たりコスト	312,600.0	390,750.0	334,500.0	334,500.0
前年度比 (%)		125.0%	85.6%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は業務量の見直しにより人件費が減少しました。			

(3) 活動指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業			単位:	回
	指標説明	美濃市スポーツ少年団本部において実施した事業				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	5	4	4	4	

(4) 成果指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業参加者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃市スポーツ少年団本部事業に参加した人数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	200	200	150	150			
	実績値	184	137	29				
達成度 (%)	92.0%	68.5%	19.3%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	スポーツ少年団登録者が減少傾向にある為、体験入団等を通じて団員加入率の減少に歯止めをかけることが課題です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
指導者・育成者に研修会への参加を呼びかけるとともに、日時設定についても平日の夜間は避け、土日で行います。また、体験入団等を通じて実際に各スポーツを体験し、スポーツ少年団員の増加が見込めるイベントを行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
指導者・育成者向けの研修日は土日等、参加しやすい日時にします。新規団員獲得に向け、体験入団等を実施していきます。また、各種スポーツを保護者にもPRし、スポーツ少年団を理解してもらう取組をしていきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-25	スポーツ振興事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55 スポーツ団体と指導者の育成		
	施策名(評価単位)	(37) 生涯スポーツの推進		

2. 事務事業の目的	スポーツ教室の企画・運営、各種スポーツ大会のマネジメントを実施してスポーツ振興を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会のマネージメント 各種スポーツ教室の開催 体育施設の貸出、料金徴収、清掃 NPO法人うだつアップクラブへの業務委託

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	6,150,481	6,150,870	6,151,980	6,094,000
② 人件費	825,000	825,000	900,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	6,975,481	6,975,870	7,051,980	6,994,000
前年度比 (%)		100.0%	101.1%	99.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	6,975,481	6,975,870	7,051,980
④ 活動一単位当たりコスト	2,325,160.3	2,325,290.0	3,525,990.0	2,331,333.3
前年度比 (%)		100.0%	151.6%	66.1%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会を一部中止したため、活動一単位当たりのコストが増加しました。令和3年度は例年通りの開催回数を見込んでいるため、活動一単位当たりのコストが減少します。			

(3) 活動指標	指標名	スポーツ大会数				単位:	回
	指標説明						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	実績値	3	3	2	3		

(4) 成果指標	指標名	スポーツ施設利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込				
	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000				
	実績値	77,183	69,330	59,338					
達成度 (%)	96.5%	86.7%	74.2%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会数、利用者数が減少しました。少数の人員で、貸館業務を的確にこなし、利用者から信頼があります。施設の維持管理の委託が大変厳しい状況であるので、現状の見直しが必要です。スポーツ教室の企画運営を検討する必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<p>平成25年度より独自の企画運営のスポーツ教室・大会などを実施していますが、新たに計画しスポーツの普及・啓発を図る必要があります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
<p>総合型地域スポーツクラブ「美濃うだつアップクラブ」の運営方法を具体的に検討し、将来的に独立運営していくために事業規模を拡大します。又、他の委託事業との整合性も考慮し、事業統合も考えます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-26	ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ開催補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	56	競技スポーツの支援	
	施策名(評価単位)	(37)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	自転車国際ロードレースツアー・オブ・ジャパンを開催し、スポーツ振興と自転車普及促進を図るとともに、美濃市を自転車のまちとしてPRします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会中止。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	9,800,000	9,800,000	0	0
② 人件費	1,050,000	1,050,000	0	0
③ 合計コスト ①+②	10,850,000	10,850,000	0	0
前年度比 (%)		100.0%	0.0%	0.0%
財源内訳	国・県支出金	3,000,000	2,700,000	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	3,800,000	3,800,000	0
	一般財源	4,050,000	4,350,000	0
④ 活動一単位当たりコスト	28,477.7	26,335.0	0.0	0.0
前年度比 (%)		92.5%	0.0%	0.0%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度及び令和3年度は大会中止となりました。			

(3) 活動指標	指標名	ボランティア数			単位:	人
	指標説明					
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
		381	412	0	0	

(4) 成果指標	指標名	観客数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
	目標値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	実績値	30,000	30,000	0	0			
達成度 (%)	15,000	31,000	0					
	50.0%	103.3%	0.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	令和2年度、3年度が新型コロナウイルス感染症のため中止となっていますが、開催時にはレースがメディアに取り上げられることにより、美濃市をPRすることができています。午前9時から午後1時頃までの通行規制があり、レースコースの沿線住民の理解は得られていますが、業者やゴルフ場利用者等、レースの開催を知らない車両への対応の検討をする必要があります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
愛三工業レーシングチームが美濃市のホームチームとなり、多くの市民が選手と交流し、ツアー・オブ・ジャパンとレースについて理解してもらうことにより、市全体でチームを応援し大会を盛り上げていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
大会運営をNPOの独自運営へ向けて協力し、大会運営に当たります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-27	文化会館運営事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	舞台芸術を中心とした公演を実施・誘致して、市民の文化力を向上を図ります。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な施設をめざして、設備の定期点検を行うとともに、高圧電気設備の修繕を実施しました。 質の高い舞台を鑑賞してもらうために音響設備を更新しました。 舞台での催し物において、出演者も鑑賞者も満足するよう、舞台技術業務を専門業者に委託しました。 自主事業として「みはる&りんごちゃんものまねSHOW」「由紀さおり・安田祥子童謡コンサート」などを開催しました。 年間を通じて「みの あ〜と いんぷお」の作品展及びワークショップを開催しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	53,652,890	49,155,295	51,491,480	53,059,000
② 人件費	450,000	450,000	450,000	675,000
③ 合計コスト ①+②	54,102,890	49,605,295	51,941,480	53,734,000
前年度比 (%)		91.7%	104.7%	103.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	54,102,890	49,605,295	51,941,480
④ 活動一単位当たりコスト	136,969.3	123,704.0	199,009.5	153,525.7
前年度比 (%)		90.3%	160.9%	77.1%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、会館の使用回数が減少したことにより活動一単位当たりのコストが増加しています。令和3年度は例年通りの使用回数を見込んでいるため活動一単位当たりのコストが減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	文化会館利用数			単位:	回
	指標説明	年間の延べ使用回数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	395	401	261	350	

(4) 成果指標	指標名	市内人口に対する来館者、入場者数割合			単位:	%	評価:	+
	指標説明	年間延べ来館者、入場者数÷年度末人口×100						
	目標値の設定方針	前年度と同率以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	130	113	128	100			
	実績値	112.3	127.4	36.8				
達成度 (%)	86.4%	112.7%	28.8%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	文化会館は市民の文化芸術活動の基盤として、常に満足できる設備と態勢を保つ必要があります。文化芸術活動に対する市民からの要望は多様化、細分化しているため、情報収集と対応力の向上が求められています。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
施設、設備の老朽化が著しいため、今後も継続して計画的に改修、更新を行います。市民の要望に応えられる自主事業の展開ができるよう、様々なチャンネルを通じて要望調査を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
本格的な音響・照明設備等を備えた市内唯一のホールとして、文化の向上に寄与してきました。施設の適切な維持管理、舞台設備の改修等、多額の経費が必要になるため、優先順位をつけながら長期計画に基づいて実施します。平成25年度から移行した指定管理者制度も9年目となりましたが、今後も更なる文化向上を目指し事業展開を行います。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-28	芸術文化協働推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市民協働による文化芸術活動の促進及び支援し、文化芸術及び文化力の向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	・市民文化の向上を目的に設立された「NPO法人 四つ葉のコウゾ」に事業を委託し、協働事業として市内各団体と連携しながら、“ウタガキ・美濃”と銘打って年間で4回、市内各所でコンサート等の開催、各団体への協力を実施し、幅広く活動を展開しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,000,000	3,500,000	1,000,000	1,000,000
② 人件費	450,000	450,000	450,000	375,000
③ 合計コスト ①+②	1,450,000	3,950,000	1,450,000	1,375,000
前年度比 (%)		272.4%	36.7%	94.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,450,000	3,950,000	1,450,000
④ 活動一単位当たりコスト	207,142.9	564,285.7	362,500.0	196,428.6
前年度比 (%)		272.4%	64.2%	54.2%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和元年度は「美濃和紙国際交流展」開催準備業務を委託したため、コスト及び活動一単位当たりのコストが増額しました。令和2・3年度は通常通りの事業費ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を一部中止したため活動一単位当たりのコストが例年より増加しています。令和3年度は通常通りの催し物の実施を予定しています。			

(3) 活動指標	指標名	開催回数			単位:	回
	指標説明	コンサート等催し物の開催回数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	7	7	4	7	

(4) 成果指標	指標名	延べ来場者			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	1,540	1,030	880	170			
	実績値	1,459	980	161				
達成度 (%)	94.7%	95.1%	18.3%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市民・地域団体との協働による音楽やパフォーマンスを開催し、地域の活性化と市民の文化力を高めることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で、6団体の催し物が中止となりました。今後も、市民の要望に即したものを市内全域にわたり実施していくことが必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
各団体との情報交換により、さらに効果的に協働できるようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	曾貝和人
新型コロナウイルス感染拡大の中で、リモート開催も含めて4回の催し物を実施することができました。市民・地域団体と協働による音楽やパフォーマンスを開催し、地域活性化と市民文化の向上を図るため継続して事業展開を行います。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-31	市内遺跡発掘調査事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名（評価単位）	(38)	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	各種開発に伴う試掘・本調査や保存目的の測量・発掘調査等を行い、遺跡の保全・保護をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	各種開発に伴う試掘調査 7件・154㎡ 保存目的の測量・発掘調査 2件・30㎡ 市道改良に伴う本調査 1件・159㎡

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費		10,085,630	8,540,023	8,829,852	9,590,000
② 人件費		1,905,000	1,905,000	1,275,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②		11,990,630	10,445,023	10,104,852	10,865,000
前年度比			87.1%	96.7%	107.5%
財源内訳	国・県支出金	4,394,000	3,450,000	4,528,000	4,097,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	7,596,630	6,995,023	5,576,852	6,768,000
④ 活動一単位当たりコスト		24,928.5	13,761.6	29,460.2	81,082.1
前年度比			55.2%	214.1%	275.2%
⑤ コストに関する増減理由		埋蔵文化財発掘調査・試掘調査・工事立会の件数及び調査面積は年度毎に変動があります。			

(3) 活動指標	指標名	調査面積			単位：	㎡
	指標説明	各種開発や保存に伴う調査				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	481	759	343	134	

4. 評価・課題	各種開発に伴う調査は義務的なものであり、令和2年度も開発事業者の工期に配慮し、迅速に事前調査を行えました。保存目的の調査は史跡の範囲確認を継続して進めています。
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
各種開発に伴う調査は工期に配慮し、工事着工に遅れが出ないように迅速に行います。保存目的の調査については範囲及び形状の確認を行い、保存方法を検討します。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
開発に伴う事前確認調査については、今後も開発事業を円滑に進めるため、遅滞なく進めていきます。保存目的調査については、新しく得られた知見を市民に公開し、文化財に対する理解を得ながら保護を進めていきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-32	民俗文化財記録保存事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名(評価単位)	(38)	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	民俗資料を収集し郷土資料として整え、歴史学習、生涯学習に活用します。
------------	------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	文化財指定をめざし、和紙関係資料の分類び資料作成を実施しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	2,095,395	810,111	0	0
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,275,000	0
③ 合計コスト ①+②	3,295,395	2,010,111	1,275,000	0
前年度比 (%)		61.0%	63.4%	0.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,295,395	2,010,111	1,275,000
④ 活動一単位当たりコスト	500.4	305.3	193.6	#DIV/0!
前年度比 (%)		61.0%	63.4%	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和2年度で事業は終了しました。			

(3) 活動指標	指標名	資料点数	単位:	点	
	指標説明	収集資料点数			
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
	実績値	6,585	6,585	6,585	0

(4) 成果指標	指標名	未整理資料点数	単位:	点	評価:	-
	指標説明	収集資料点数-整理済点数				
	目標値の設定方針	未整理資料が前年度以下になるよう設定				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	目標値	4	0	0	0	0
	実績値	4	0	0		
	達成度 (%)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!		

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	収集・整理作業は順調に終了しました。今後は将来に向けての保護・保存について検討が必要です。一般公開が可能な施設は整備されたため、収集した資料の展示に工夫が必要です。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
収集した資料については保護のため文化財指定を目指します。また、展示については、通常管理業務の中で、テーマを決め、収集した資料をなるべく多く市民へ公開できるよう、計画的に行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
収集整理はほぼジャンルを網羅した感があります。和紙製作関連の資料整理も進んでおり、文化庁と連携しての保護施策に取り組んでいきます。また、収集資料については、展示変えを行いながら広く市民へ公開します。		
今後の方向性	3. 完了	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-33	市指定文化財修理等補助経費	担当課	人づくり文化課
			作成者	川島 誠次
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、市指定文化財の修理・修復を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	市指定文化財の修理に対し、美濃市文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付。 ・令和2年度は事業なし

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	233,000	645,000	0	0
② 人件費	1,575,000	1,575,000	1,275,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	1,808,000	2,220,000	1,275,000	1,275,000
前年度比 (%)		122.8%	57.4%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,808,000	2,220,000	1,275,000
④ 活動一単位当たりコスト	904,000.0	1,110,000.0	1,275,000.0	1,275,000.0
前年度比 (%)		122.8%	114.9%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	指定文化財の修理の有無、修理内容によりコストに変動があります。令和3年度は修理予定はありませんが、文化財管理者からの修理などの要望に対応します。			

(3) 活動指標	指標名	市指定文化財修理件数			単位:	件
	指標説明					
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
		2	2	0	0	

(4) 成果指標	指標名	市指定文化財修理件数			単位:	件	評価:	+
	指標説明	市指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える						
	目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数						
	目標値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	実績値	2	2	0	0			
達成度 (%)	—	50.0%	0.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
市指定文化財のうち、祭礼関係のものは次年度(4月)の祭礼に間に合うよう要望される傾向があります。緊急な修理については柔軟な予算対応が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
計画的な修理が行えるよう、所有者との連絡を適宜取れるようにします。日頃から指定文化財の状態を確認し、修理計画を立てます。緊急を要するものについては、迅速な修理を行えるよう調整を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
要望があるものについて着実に修理が行われています。今後も計画的に修理等を行います。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-34	指定文化財保存整備事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	池戸真由
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名(評価単位)	(38)	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、県指定文化財の修理・修復を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	県指定文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付。 ・ 洲原神社中央本殿保存修理 ・ 大矢田のヒンココ狸々姫保存修理

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	7,500,000	9,864,000	11,742,000	11,089,000
② 人件費	1,575,000	1,575,000	1,650,000	1,350,000
③ 合計コスト ①+②	9,075,000	11,439,000	13,392,000	12,439,000
前年度比 (%)		126.0%	117.1%	92.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	9,075,000	11,439,000	13,392,000
④ 活動一単位当たりコスト	9,075,000.0	2,859,750.0	6,696,000.0	4,146,333.3
前年度比 (%)		31.5%	234.1%	61.9%
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	指定文化財の修理内容によりコストに変動があります。令和3年度は3件対応予定です。			

(3) 活動指標	指標名	県指定文化財修理件数			単位:	件
	指標説明					
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
		1	4	2	3	

(4) 成果指標	指標名	県指定文化財修理件数			単位:	件	評価:	+
	指標説明	県指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える						
	目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	1	4	2	3			
	実績値	1	4	2				
達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	県指定文化財の修理は県の採択数で補助決定するため、すべて採択されるわけではありませんが、事業内容を精査し、緊急を要するものについては、迅速な修理が行えるよう調整を行っています。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
計画的な修理が行えるよう、指定文化財の状況等、所有者との連絡を適宜取れるようにします。修理内容によっては長期間にわたるものもあるため、専門家も交え、修理計画をたてます。また、昨今みられるような集中豪雨による倒壊など緊急を要するものについては、迅速に対応できるようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
要望があるものについて着実に修理が行われています。今後も計画的に修理等を行います。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-39	美濃和紙用具ミュージアム施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	池戸真由
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用	
	施策名（評価単位）	38	文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	美濃和紙産業を支える用具類及び民俗資料を展示し、次世代へと継承します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用業務（観覧者受付、案内、体験業務等） 施設清掃業務（体育館、グラウンド除く） 収蔵資料管理（整理、展示品入替え）

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	5,928,293	6,013,712	3,747,478	3,714,000	
② 人件費	1,200,000	1,200,000	900,000	1,650,000	
③ 合計コスト ①+②	7,128,293	7,213,712	4,647,478	5,364,000	
前年度比 (%)		101.2%	64.4%	115.4%	
財源内訳	国・県支出金		0	0	
	市債		0	0	
	その他特定財源	59,510	35,160	30,170	46,000
	一般財源	7,068,783	7,178,552	4,617,308	5,318,000
④ 活動一単位当たりコスト	33,309.8	23,651.5	17,943.9	17,415.6	
前年度比 (%)		71.0%	75.9%	97.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (R2年度実績、R3年度見込)	令和元年度は施設にボルダリングウォールを設置したため、事業費が増加しています。令和2年度・令和3年度は大規模な工事等の予定はありません。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの開館日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	214	305	259	308	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの入館者数					
	目標値の設定方針	前年度実績以上					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500		
	実績値	1,498	1,332	386			
達成度 (%)	99.9%	88.8%	25.7%				

評価					A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
平成21年度から収集を開始した美濃和紙用具等の恒久的展示施設として平成30年7月に「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」をオープンしました。コロナ禍のなか入場者数が落ち込んでいますが、適切な感染対策を実施し、多くの方に来館していただけるようにする必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
定期的な展示の入替えや小学校への周知活動を行なっていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
美濃和紙用具等の民俗資料は、後世に伝承すべき貴重な資料であります。また、美濃和紙の里会館、美濃手すき和紙の家にも隣接しており相乗効果が期待できるため、相互連携を図り積極的にPRしていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

令和 2 年度

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-35	文化遺産活用推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	高木 宏和
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	63 歴史文化基本構想の推進		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市内に点在する文化財を指定・未指定にかかわらず幅広くとらえ、周辺環境までを含めて、総合的に保存・活用するための計画を作成します。
------------	--

3. 事務事業の実績	(1) 事業の実施内容(令和2年度)	文化財保護法改正に伴い、歴史文化基本構想から文化財保存活用地域計画として作成する方針とし、令和2年度で案を作成しました。計画作成に伴い、旧美濃町の商家、社寺を中心として文化財悉皆調査（古文書・文献・棟札・祭礼・伝統行事）を実施しました。
------------	--------------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	14,866,211	14,416,895	8,746,429	9,111,000	
② 人件費	1,200,000	5,700,000	7,275,000	6,900,000	
③ 合計コスト ①+②	16,066,211	20,116,895	16,021,429	16,011,000	
前年度比 (%)		125.2%	79.6%	99.9%	
財源内訳	国・県支出金	4,398,000	6,296,000	480,000	518,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	11,668,211	13,820,895	15,541,429	15,493,000
④ 活動一単位当たりコスト	93,954.5	117,642.7	106,809.5	106,740.0	
前年度比 (%)		125.2%	90.8%	99.9%	
⑤ コストに関する増減理由 (R元年度実績、R2年度見込)	令和元年度は文化財保存活用地域計画作成に伴う業務委託を実施したため事業費が増額しています。				

(3) 活動指標	指標名	調査、講演会等			単位:	日
	指標説明	悉皆調査、講演会などの活動日数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	171	171	150	150	

(4) 成果指標	指標名	調査件数、講演、実演件数			単位:	件	評価:	+
	指標説明	悉皆調査、講演会、実演件数						
	目標値の設定方針	基礎データ等の件数						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	1,200	920	1,212	1,200			
	実績値	923	914	800				
達成度 (%)	76.9%	99.3%	66.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	文化財保存活用地域計画の作成とともに、そのための調査研究成果を講演会により周知することができました。文化財保存活用のために講ずる措置を推進するために関係機関等との協力が必要です。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
引き続き市内に点在する歴史的資料や文化財等の悉皆調査を行い、文化財の保存・活用を実施します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
市内に所在する文化財を観光資源として活用し、観光客受入体制の整備や文化財周辺環境整備のために計画の作成・運用は必要です。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-37	町並み保存整備事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川島 誠次
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	62 重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区内の歴史的風致を維持し、伝統的・歴史的な景観を向上させます。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<p>7件の修理に対し、補助金執行事務を行いました。</p> <p>〔補助割合〕 伝統的建造物指定建造物8/10（限度額 600万円）、非指定建造物6/10（限度額400万円） （国補助1/2、市補助1/2） 小坂家主屋 4,277千円、岡家土蔵 5,904千円、児玉家主屋 6,000千円、川井家土蔵 448千円 鈴木家土蔵 4,688千円、奥田家主屋 2,488千円、加藤家主屋 2,704千円、事務費 30千円 合計 26,539千円</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	16,782,000	20,166,403	26,538,992	17,639,000	
② 人件費	1,200,000	1,575,000	2,025,000	2,850,000	
③ 合計コスト ①+②	17,982,000	21,741,403	28,563,992	20,489,000	
前年度比		120.9%	131.4%	71.7%	
財源内訳	国・県支出金	11,391,000	10,083,000	13,269,000	8,819,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,591,000	11,658,403	15,294,992	11,670,000
④ 活動一単位当たりコスト	5,994,000.0	3,105,914.7	4,080,570.3	3,414,833.3	
前年度比		51.8%	131.4%	83.7%	

(5) コストに関する増減理由	各年度の修理修景対象により事業費が増減します。
-----------------	-------------------------

(3) 活動指標	指標名	修理・修景実施数				単位:	件
	指標説明	該当地区内において補助金を交付して実施した建築物の修理・修景事業の実施件数					
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込		
	実績値	3	7	7	6		

4. 評価・課題	<p>事務事業内容のほとんどが、建築設計・監理・査定であり、本物の景観を後世に伝えていくために技術面での吟味が必要であると同時に、専門の知識を習得した者が担当できる体制を整える必要があります。</p> <p>また、美濃市における補助制度の開始は、消費税率が5%であった平成11年であり、その後に消費税率8%、さらに10%に変更になっても補助金額の上限（伝建物600万円、非伝建物400万円）を改正しておらず、施主の費用面での負担軽減対策（例えば、角地の建物は外観延長・面積が多く、工事費が増大する。）を講ずる必要があります。</p>
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
住民からの要望件数増加に対応できる、財政的措置の拡充が必要です。 地区内における新築等、即座に対応できる財政的措置も必要です。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、観光施策・文化財保護の施策の中核であり、今後継続的に実施していく必要があります。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-38	町並み保存事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	池戸真由
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	62 重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全		
	施策名(評価単位)	(38) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区の保存啓発・PRのため、市民団体の育成に努めます。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<p>市民団体「美濃の町並みを愛する会」「町並み案内ボランティア」への活動補助金執行事務等を行いました。</p> <p>美濃の町並みを愛する会 91千円 町並み案内ボランティア 200千円</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	892,495	438,120	502,433	620,000
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,650,000	2,025,000
③ 合計コスト ①+②	2,092,495	1,638,120	2,152,433	2,645,000
前年度比		78.3%	131.4%	122.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,092,495	1,638,120	2,152,433
④ 活動一単位当たりコスト	14,531.2	11,785.0	15,943.9	19,592.6
前年度比		81.1%	135.3%	122.9%
⑤ コストに関する増減理由	令和2年度及び令和3年度は業務量の見直しにより人件費が増加したため、コストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	会員数			単位:	人
	指標説明	2つの市民団体の会員数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	144	139	135	135	

4. 評価・課題	<p>会員の高齢化に伴い、会員数が減少傾向にあることから、若者の入会促進のための事業を実施しましたが会員数は減少しました。</p>
----------	---

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<p>町並みを訪れる観光客の、観光時間に合わせた案内コース等のメニューを充実させ、旅行事業者等に積極的に働きかける必要があります。また会員が高齢化しており、次世代を担う若者の会員の入会促進と育成するための取り組みが必要になります。</p>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
<p>美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、美濃市の観光施策の中心となるものであり、ボランティア育成並びに会員増のため今後も継続して運営補助していく必要があります。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)